

デジタルオーディオディレイ NJU26901のサンプル配布開始

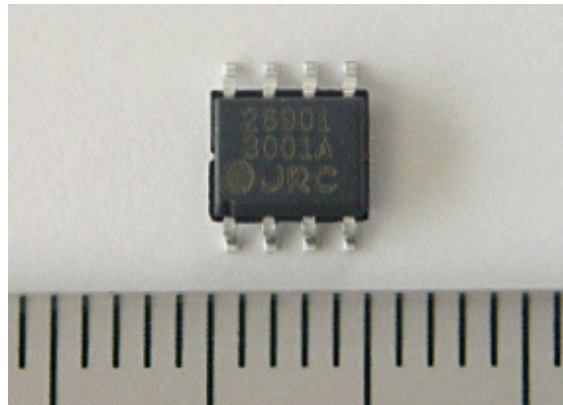
デジタル音声の遅延処理を小型パッケージで実現

新日本無線では、デジタル処理により遅延した画像と音声の同期をとるため、リップシンクに最適なデジタルオーディオディレイNJU26901の開発を完了し、サンプル配布を開始しました。

近年のTV(PDP TV、液晶TV、ブラウン管TV)は、画像処理のデジタル化が進んでおり、これに伴い遅延した画像と音声の同期を取りたい、というTVメーカーの要望が高まっています。NJU26901は、この要望に応えるため、メモリと遅延制御回路を1チップ化し、音声遅延処理に必要な機能を全て搭載しました。

遅延時間は、最大128msec(サンプリング周波数=32KHz時)。これはTVなど、画像と音声を扱うセットに最適なICです。EMP8パッケージに収め、外付け部品を必要としないため、実装面積の省スペース化に貢献します。

(2004年 1月20日)



<製品の機能および特徴の概要>

- ・動作電源電圧 2.5V(インターフェースは3.3V対応)
- ・オーディオIF I²Sフォーマット(24ビット)
1入力ポート、1出力ポート
(ステレオ入力→ステレオ出力)
- ・最大遅延時間 128msec(サンプリング周波数=32KHz)
約85msec(サンプリング周波数=48KHz)
- ・外形 EMP8 (4.9×6.0×1.5mm)

<生産予定/サンプル価格>

弊社では、NJU26901のサンプル配布を2004年1月より開始し、生産は2004年3月より、月産10万個で立ち上げる予定です。なお、サンプル価格は@¥500です。